

当院で肺がん外科治療を受けられた患者さんへ

当院では患者さんに、よりの確な治療を提供するために医学研究を進めています。本研究によるデータ収集を希望されない方は研究対象といたしませんので、手術を施行される施設の担当窓口へご連絡いただき、その旨お伝えください。その場合に、皆様に不利益が生じることはありませんのでご安心ください。

研究の対象

2021年12月31日までに当院で原発性肺癌に対する外科切除療法を受けた、あるいはこれから受ける方のうち、以下の条件を満たす患者さま

1. 肺葉切除以上の手術、2. 完全切除、3. 病理学的に非小細胞肺癌と診断
4. 病変の大きさが2cm以上

研究目的と方法・期間

【目的】病変全体径2cm以上の非小細胞肺癌かつ肺葉切除術以上完全切除患者を対象とし、術後補助化学療法の治療成績を明らかにすることで、TNM分類第8版に基づく現行肺癌診療ガイドラインの再評価と、今後の前向きランダム化比較試験の実行可能性を検証する。

【方法】研究参加施設ごとに日常診療の情報を症例登録票に記載して事務局に送付することでデータ集積を行い、統計学的な解析を行います。本研究実施により特別な処置が皆様に行われることはありません。通常行われている治療と全く変わらない診療を受けることができます。また、本研究実施により皆様に肉体的・経済的にご負担をいただくこともありません。

【期間】登録期間：研究許可日～2021年12月31日（ただし登録状況により変更あり）
研究実施期間：研究許可日～2027年3月31日（観察期間は2026年12月31日まで）

研究に用いる情報の種類

患者情報：年齢・性別・喫煙指数

手術情報：手術日・術式・切除側・切除部位

病理情報：病理病期・組織型・病変全体径・浸潤径・分化度・開閉胸時洗浄細胞診・
静脈/リンパ管侵襲の有無・胸膜浸潤の有無・肺内転移の有無・径気腔進展の有無・
免疫組織科学的検査（PD-L1検査含む）など・遺伝子情報：EGFR/ALK/ROS1/BRAFなど

術後経過：術後補助化学療法内容など

転帰情報：再発有無・再発日・再発部位・死亡日・死因など

再発後経過：再発後治療内容・効果など

本研究の実施体制

【研究代表者・研究事務局】

帝京大学医学部 外科学講座 呼吸器外科 齋藤雄一
〒173-8605 東京都板橋区加賀2-11-1 TEL：03-3964-1211

本研究に関するご質問等ございましたら、下記連絡先までお問合せ下さい。

当施設の担当窓口： 埼玉県立循環器・呼吸器病センター 呼吸器外科
電話番号 048-536-9900 担当医師 高橋伸政